



竹の子



校長室だより

(児童数配付)

令和5年11月24日

暑かった気候もようやくおさまり、朝晩は、寒さを感じる季節になってきました。そんな中、11月14日に5年生と一緒に東京方面の校外学習に行ってきました。インフルエンザが流行している時期で、子供たちの体調も心配でしたが、無事出発することができました。

道中は、渋滞もなくスムーズで、富士山・スカイツリーが目の前に大きく見えるほど素晴らしい天気にも恵まれた一日でした。初めの読売新聞東京本社の見学まで、少し時間があつたので、バスの中から皇居周辺の見学を行いました。日頃ゆっくりと東京の街並みを見学することもないので、子供たちもとても満足そうでした。

読売新聞社では、説明を受けたのち、校閲の体験をさせていただきました。全部で10か所の間違ひを見つけるのですが、漢字や誤字脱字だけでなく、地名や数字など様々な知識を持っていないと見つけにくいものも多くあり、私も10個全部見つけることはできませんでした。

続いて、科学技術館です。友達と協力しながら班別見学を行いました。様々な化学技術を使った展示物や体験を通しての学習は、科学に興味をもっていなくてもとても楽しいひと時になりました。このような経験を通して、科学に興味を持つ人が一人でも多くなればよいなと思います。



☆彡 ☆彡

1年生が、生活科の「あきとあそぼう」という単元で、様々な秋を経験していました。学校の近隣の公園に行って、イチョウやカエデの葉っぱやドングリなど秋を感じられるものをたくさん集めてきました。

また、校庭に落ちていた杉の葉が、赤く色づいておりそれを集めて、大きなマスコットが二体作られていたのがとても印象的でした。

今年は11月8日の立冬の前日まで夏日になるなど、過ごしやすい秋を感じる日も少なかったように思えました。このような中でも、1年生がたくさんの秋を見つけ、秋を楽しむことができたことは本当に良かったと思います。



暦の上では、「冬」ですが、学校の裏の緑道のイチョウなど、まだまだ紅葉を楽しむ機会があるように感じます。残り少ない秋の良さを満喫できればいいなと思わずにはられません。